

# 6

## みんなが「分かる」、「できる」授業づくり取組事例 「読むこと」、「書くこと」が難しい児童生徒への指導の工夫

取組事例⑩

### 文章の音読が難しい

場面・教科

各教科・読む場面

#### 困難の背景として考えられること

- ・漢字の読み方が覚えられない。単語のまとまりをとらえることが難しい。
- ・行をとばして読んでしまう。

#### 授業における指導方法 の工夫のポイント

⑩ 感覚の活用

⑫ 学習方法の選択

#### ○ 文字や文章を音声化して理解を促す



文章の読み上げやICTを活用して音声化することで内容理解を補助する工夫（感覚の活用）

#### ○ 読みやすい方法を選択できるようにする



ルビ付きテストの使用、補助具の使用、読んでいるところを指でなぞるなど、自分の読みやすい方法の選択（学習方法の選択）

#### 期待される効果

- ・自分に合った学び方を選択でき、学習の理解が深まる。（自己選択・自己決定）
- ・学級全体における多様性の理解と、児童の「できることに目を向ける」という視点が育つ。

## 平仮名の読み書きが困難

場面・教科

自立活動

### 困難の背景として考えられること

- ・発達の段階が年齢に相当していないため、学習能力や技能が低く、平仮名の読み書きに対する意欲が低い。
- ・パソコンの学習は好きだが、文字数と数を一致させることができず、キーを打つことが上手くできない。

### 授業における指導方法の工夫のポイント

- ⑤ 時間の構造化
- ⑥ 焦点化
- ⑦ 展開の構造化
- ⑧ スモールステップ化
- ⑩ 感覚の活用

#### ○ 読み書きへの抵抗感を軽減させ、モチベーションを保たせて活動する

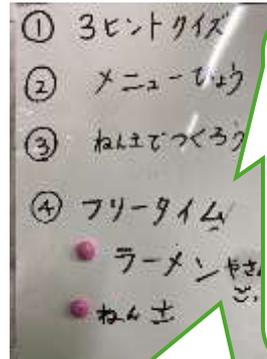


平仮名と片仮名の表はラミネートして、裏にマグネットを貼って、フックに下げている。  
(場の構造化、視覚化)



平仮名カードを並べることで、イラストを文字にできた達成感を感じることができる。また、ホワイトボードにペン書きすると、ペンの太さや消しやすさから抵抗感が軽減できる。  
(スモールステップ化、感覚の活用)

#### ○ 学習メニューを提示し、最後にフリータイムを設定する



提示したメニューは、その項目を終えたら消していくと、児童は達成感を感じることができる。(時間の構造化)

学習の後半に、フリータイムを設定し、その内容を自己決定させることにより、モチベーションを保ちながら活動することができる。(時間の構造化)

#### ○ 遊んでいるように学ぶこと(練習)ができる教材の工夫

市販の玩具を使って、清音1文字に対して♡のボタンを押して音を1回鳴らすという活動を繰り返し、文字数と音数を一致させていくことにより、パソコンのキーを決まった回数打つことを目指している。また、濁音や拗音、促音、長音の感覚も育ってきている。(焦点化、感覚の活用)



### 期待される効果

- ・遊んでいるような感覚で、「またやりたい。」「もっとやりたい。」と意欲と達成感を感じながら学びを深めていくことができる。